

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 8 月 25 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 22 年度第 5 回)		
出席者	<p>田中会長、宮島副会長、荒井委員、荒木委員、石井信子委員、石坂委員、岩木委員、金井委員、木内委員、竹田委員、玉井委員、西川委員、西沢委員、堀内委員、宮崎委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員</p> <p>(欠席委員)石井孝二委員、上原委員、清水委員</p> <p>(事務局)山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、 林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査</p> <p>(説明者)岡田政策企画課長、浅野生涯学習課長、近藤政策企画課長補佐</p>		
<p>会議次第</p> <p>1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p> 前回の協議会では「上田 道と川の駅」の活用、地域振興と地域防災拠点についてご説明を受けた。上田道と川の駅整備連絡協議会が設立され、地域の活性化につながるような組織にしていきたい、という内容だった。この施設は城南地域協議会で提出した意見書に添った形で整いつつあると思う。今後もかかわりを持っていきたいと考えている。</p> <p> 城南公民館建替についてだが、これまで利用者団体をはじめ地域の皆さんの意見・要望を基に作成された、配置図・平面図(案)が示され検討された。新たな組織として城南公民館建築地元協力委員会が結成され、ここで検討がなされている。本日城南公民館建替について教育委員会から意見を求められることになっている。協議をお願いしたい。</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1)城南公民館の新築について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南公民館建築地元協力委員会の取り組み状況について 資料：「新城南公民館建設についての御礼と地元の協力体制について」 より事務局から説明 ・上田市地域自治センターによる第 7 条第 1 項の規定に基づき、当協議会に意見が求められている。生涯学習課から説明がある。 資料：「城南公民館の新築について」 			

1. 事業の背景について
2. 経過について
3. 意見を求める内容について

資料：「城南公民館建設概要案について」

1. 事業の経過について
2. 整備方針
3. 事業スケジュール
4. 資料（配置図及び平面計画図）

より生涯学習課から説明

「配置図」「平面図」

より事務局から説明

【主な質疑等】

委員：非常口の関係について話が出ていたが、非常口はどこになるのか。

事務局：大ホールには荷物の出し入れの入口を設ける予定だ。料理実習室の左側の奥にひとつ、設けている。2階に関しては階段と屋外階段の2箇所になる。

(2) 地域まちづくり方針の見直しの実施について

後期基本計画の策定に伴う地域懇談会について

資料：「第一次上田市総合計画『地域まちづくり方針』の見直しについて」

1. 第一次上田市総合計画の構成
2. 地域まちづくり方針の検証と見直しについて
3. 地域別懇談会の開催について
4. 今後のスケジュール

資料：「第一次上田市総合計画 ダイジェスト版」

より政策企画課から説明

【主な質疑等】

会長：地域まちづくり方針の見直しに対する時間的な期限はあるのか。

担当課：後期基本計画の策定に合わせ、地域まちづくり方針の進捗状況等を見ながら、表現等かえる必要があるのか、地域協議会でご協議いただきたい。次回9月の地域協議会で諮問させていただく。来年の3月までにはその結果について答申をいただきたいと考えている。その間に、10月中旬から11月中旬に、地域別懇談会を開催したいと思う。この懇談会では地域まちづくり方針ももちろんだが、後期基本計画全体についてのご意見をいただきたい。もう一点は、総合計画審議会を10月中旬に計画している。審議会では、まちづくり大綱の6つの分野にちなんで、6つの部会を設

置する予定だ。各部会で、後期基本計画の策定に向けたご審議をいただきたいと考えている。

会長：地域まちづくり方針について、まちづくり活動拠点の整備、については、城南公民館の建替ということで、ほぼ目標は達成した。「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点作り、も検討している。人や自然にやさしい交通機能の整備、地域医療体制と保健福祉施設の整備、地域で子どもを育てるまちづくり、自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全、歴史的・地域的資源の保全と活用、この分野は公民館の2階にできる郷土資料学習室の関連と見られる。この様な問題について、大いに検討いただきたいと思う。

委員：前期基本計画については出来上がっているものと思うが、これを見直すのか。

担当課：前期基本計画は平成20年度から23年度の計画ということで発表した。前期基本計画がどのように進んできたのか。具体的にどのような事業を実施して現在どうなのかを見直し、後期基本計画も引き続きそれを実施していく必要があるのか、また、変更して新たに追加していかなくてはいけないのか、その点を見直す。

会長：過去2期の城南地域協議会では4つの分科会があり、それぞれの問題を検討し、その中に城南公民館の問題もあった。城南地域としても重要な部分を具体的に洗いだして、議論することになると思う。

(3) 今後の取組みについて

資料：「上田城南地域協議会の意見とりまとめ」より事務局から説明

【主な意見等】

委員：活動する拠点として分科会はあったほうがいいのではないかと。取組みの中で、問題のあるものは全体会にかけて進めていけばいいと思う。

会長：この城南地域が依然として抱えている問題がたくさんあるので、そのような問題を考えたときに分科会をどうするか。皆さんが今感じている城南地域としての課題、前期・後期の問題で考えたときに、城南地域の問題はなんだろうか。各々でまとめ、それがこの地域の優先順位になるのではないかと。

委員：後期の4年間は、前期からの経過を見守っていかなくてはならない。問題があったら、地域協議会として意見を出していく必要がある。

委員：人数的には3つくらいの分科会が理想的と思う。まちづくり方針に添ってとなると、完結しているものを抜いてテーマを絞り、3つくらいの分科会にする。相互の分科会と連携して何か形にできるような分け方がいいと思う。

委員：道と川の駅については第1段階の協議会としてのテーマは終わったと思う。運営委員会もできたので、代表で意見を言ってもらい協議会の意見を聞きたいときに議題を提供していただく。分科会で検討してきた課題の中で、保育園ができること

が決まったが、延長保育や放課後保育の問題が大きなテーマとして残っている。子どもたちのことについて引続きしっかり考えなくてはいけない。どのテーマをなくすのか、改めてこの様な分科会があって欲しいという意見があれば、新しい分科会も作ればいいのか。

事務局：20年度から27年度の8年間の計画の中で、4年後に中間評価、8年後に最終評価という形になると思う。後期の24～27年度の計画を作ることがこれからの作業で、それを検討する審議会へ地域協議会からも委員さんを出していただくことになる。実状に合っていないのであれば見直し、それに添った後期の基本計画を作らなければいけない。原則は8年計画なので、終わったからと落としてしまうと、最終の8年間の総括をするときに、整合性が合わなくなってしまう。社会状況の変わっていく中で、いままで視点から抜けていたものは加えたほうが良いと思う。合わせて、これまでの事業の進捗管理や検証という意味も含まれている。

委員：まちづくり大綱が6項目あるが、今回重点的にどれを取り組んでいくか、それを決めて細部に入っていく方がいいのではないかと。城南地区の7つの項目の中から、今回は何と何を重点的に協議していこうと決めてから、分科会は何人にしようという話に進んだほうがスムーズに行くと思う。

委員：分科会のとりまとめ表を拝見して、見方によっては各分科会とも一段落の気がする。しかし、さらに突っ込んでいけばテーマはいくらでもある。構成メンバーがかなり変わっており、過去の視察についてご存じない方も多い。第二期までで一段落させて、新しいメンバーで新しいテーマを作りなおすのもひとつの方法だと思う。

会長：6人の方が新しく入ったので、その方に今までの成果や、地域協議会のもつ細かい伝達をどのようにしていくか、その後次に向けて、皆さんに意見を提案してもらおう、というようにしたらどうか。

事務局：第5回ということだが、説明不足な点もあると思う。去年出した上田城南地域協議会だよりが皆さんのところに届いていると思う。この中で見ていただくようなことをやってきたのか、ある程度わかると思う。「まちづくり活動拠点の整備」と「地域医療体制と保健福祉施設の整備」は全体で協議していこうということで、そのほかは分科会でテーマ別にやってきたと思う。今日は用件のみお聞きし、次回分科会について話ができればと思う。

会長：本日は皆さんのお立場でのお話を聞いたということで、今後どうするかということも事務方のほうでも検討してもらい、皆さんと相談したいと思う。

委員：城南地域の7つの課題を中心に考えていくべきだと思う。課題を挙げた上で、3つくらいに別ればいいのかと思う。関係したものを寄せて話し合っていけたらいいと思う。

委員：みんな理解できるように、話し合いを持つ。きめ細かにしていただけたら、20人が理解できて進んでいくのではないかと。しかし、時間が取れるかどうか。興味の

ある方はどこの分科会であろうと、他の分科会にも回遊していただき、理解できるようにした方がよいのではないかと思います。

会長：魅力アップ応援事業の採択をどうするかも、この地域協議会の大きな役割になる。かなり大きな金額が地域協議会にゆだねられている。今後地域におけるそれぞれの自治会が、頭を働かせなくてはならなくなると思う。そのようなときに我々が相談相手になれるように努力していきたいと思う。各委員さんのスタートラインが同じでないので、同一のスタートラインとなるよう意識してもらいたい。

委員：分科会がいかに活用されているか、分科会を作ってもその辺の理解をしていただかないと困る。全体会で話し合う時間を設けなければ、分科会を活用できない。先ほどの総合計画、時代の対応を我々もしていかななくてはいけないし、地域協議会だよりもひとつのテーマになっているが、4分科会のテーマとしては、非常に生きている。そのような活動も踏まえて皆さんにPRしなければいけない。全市的に共通する問題もあると思う。そのようなことも考えて次の分科会を立ち上げて頂きたいと思う。

会長：結論は出ないが大変な宿題をいただいた。次の機会にご案内申し上げるだろうと思うが、よろしく願いたい。

(4) その他

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成 22 年度 9 月 22 日（水） 開催予定

閉 会